

平成26年度 エネルギー・燃料・水・紙 使用状況チェック表

項目	(参考) 前々年度 2月～1月	基準年度 前年度 2月～1月	第1 四半期				前年 度比 増減 率 %	第2 四半期				前年 度比 増減 率 %	第3 四半期				前年 度比 増減 率 %	第4 四半期				前年 度比 増減 率 %	年度 合計	前年 度比 増減 率 %	
			平成26年 2月	3月	4月	小計/ 前年度		5月	6月	7月	小計/ 前年度		8月	9月	10月	小計/ 前年度		11月	12月	平成27年 1月	小計/ 前年度				
従量電灯C /kwh	21,959	23,563	3,059	2,495	1,329	6,883 7,522	△ 8.5	1,063	935	1,066	3,064 3,389	△ 9.6	1,018	1,135	1,446	3,599 3,674	△ 2.0	2,238	2,120	1,869	6,227 8,978	△ 30.6	19,773	△ 16.1	
低圧電力 /kwh	2,769	3,561	384	182	217	783 472	65.9	248	145	581	974 551	76.8	337	143	232	712 1,338	△ 46.8	191	1,301	996	2,488 1,200	107.3	4,957	39.2	
ガソリン/L	13,193	9,572	807	864	741	2,412 2,632	△ 8.4	667	426	557	1,650 1,784	△ 7.5	638	814	866	2,318 2,645	△ 12.4	1,043	1,478	1,296	3,817 2,510	52.1	10,197	6.5	
軽油/L	6,993	6,633	640	538	625	1,803 2,004	△ 10.0	437	458	413	1,308 1,283	1.9	537	644	476	1,657 1,550	6.9	737	747	863	2,347 1,796	30.7	7,115	7.3	
灯油/L	2,053	2,695	514	263	18	795 1,774	△ 55.2	-	-	-	- -	-	-	-	-	- -	-	456	178	233	867 921	△ 5.9	1,662	△ 38.3	
LPG/m3	27.7	20.4	2.9	3.5	2.9	9.3 10	△ 9.7	1.1	0.5	0.5	2.1 3.5	△ 40.0	0.4	0.5	1.6	2.5 1.3	92.3	3.0	4.1	5.3	12.4 5.3	134.0	26.3	28.9	
水道/m3	285	215	18	18	15	51 59	△ 13.6	17	17	17	51 55	△ 7.3	14	15	18	47 49	△ 4.1	17	18	18	53 52	1.9	202	6.0	
コピー紙 枚/A4換算		2月末現在 在庫数 51,100	14,400	5,200		19,600		8,500	6,100	79,00	22,500		7,700	9,200	6,800	23,700		2,975	2,900	2,185	8,060		73,860		
<b>目標：前年度比 2%削減</b>						第1四半期 未達成項目数						第2四半期 未達成項目数						第3四半期 未達成項目数						第4四半期 未達成項目数	未達成 項目数
						1項目						2項目						2項目						5項目	5項目

環境にやさしい仕事のためのチェックリストです。これにより、エネルギーなどの使用量の前年度比2%削減を目指します。

◎ 電力使用量の削減

- 昼休み時間、不在時の照明は消灯する。
- 自然光により十分な明るさがあり、業務に支障のない場所は消灯する。
- 非使用時は主電源を切るなど、待機電力を発生させない。
- 空調機器は、室内温度を適正に保つように運転管理する。

◎ ガソリン・軽油使用量の削減

- 不要なアイドリングや空ふかし、急発進、急加速をしない。
- タイヤの空気圧を適正に保ち、定期的に点検、整備をする。
- 冷暖房の使用は、必要最小限に抑える。
- 重機や発電機など、ガソリンや軽油を使用する機器の効率的な運転に努める。

◎ 灯油、LPガス使用量の削減

- 灯油を使用する機器の効率的な運転に努める。
- 湯沸かし等の湯温をできるだけ低温で使用する。
- 湯沸かし等のお湯の出しっ放しをやめ、こまめに蛇口を締める。
- ガスコンロのお湯が沸騰したらすぐにガス栓を締める。
- ガスコンロの清掃をこまめにし、不完全燃焼しないようにする。

◎ 水道水使用量の削減

- 日常的に節水に努め、洗車時等、必要最小限の使用に努める。

◎ 紙の使用量削減

- 両面印刷、両面コピー、裏面利用を徹底する。
- コピー機の設定解除を徹底し、ミスコピーの防止に努める。
- 会議資料の簡素化、効率化を図る。
- 情報化によるペーパーレス化の推進を図る。